

特定非営利活動法人  
**岐阜環境カウンセラー協議会**  
**会報 Vol. 18**

2016年10月31日発行



この美しい自然を守ることが、**人類を救う！！**

## 目次・概要

- 巻頭文/思い切った環境対策が必要だ、、、兎に角、急がねばならない

・・・頁 2

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男 (環境カウンセラー)

今年9月、中国・杭州で開催されたG20杭州サミット前日に、米・中両政府はCOP21で採択された温暖化対策「パリ協定」を批准した。・・・当協議会は微力ではあるが、「市民部門&事業所部門」とも、環境保全対策活動に真摯に取り組んできた、が、更なる強化策の具現化が思いほど進まないことに「切歯扼腕」の思いも募せており、重ねて「地球温暖化対策は喫緊の重要課題」として、思い切った「素早い環境対策が必要だ、、、兎に角、急がねばならない」と、心から思う日々である。

- 小林 由紀子 氏 (会員)

東京商工会議所「eco検定アワード2016」エコピープル優秀賞受賞

・・・頁 5

昨年の「アワード2015」大賞に続いての2年連続の受賞

- 環境学習を楽しく～環境と科学をつなぐ

・・・頁 6

岐阜環境カウンセラー協議会 副理事長 小林 由紀子(環境カウンセラー)

1993年にPTAの牛乳パック回収の担当になり初めて地球規模の環境問題に気が付きました。その時は本気で子どもに地球を未来に残せるか心配しました。環境について私と同様に知らない人に気が付いてほしい、一緒に考えたいと始めたのが今の活動の原点です。

- エコアクション 21 部会の紹介

・・・頁 7

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦(環境カウンセラー、EA21 審査人)

当部会は、年に6回、偶数月に開催され、当協議会の理事長、EA21 地域事務局員、岐阜県内審査人8名、愛知県審査人1名といったメンバーで構成され、エコアクション 21 の普及、事業者に対する指導・助言の在り方、審査人自身の力量向上等について意見交換をしております。

## 思い切った環境対策が必要だ、、、兎に角、急がねばならない

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男  
(環境カウンセラー)

今年9月、中国・杭州で開催されたG20杭州サミット(平成28年9月4日～5日)前日に、米・中両政府は昨年12月の第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP21)で採択された温暖化対策「パリ協定」を批准した。

「温室効果ガスの二大排出国である、米・中が批准したことで、年内の協定発効に向けて大きく前進した」と新聞各誌は大見出しで報道し、オバマ米大統領と中国の習近平国家主席は批准に関する文書を国連事務総長に手渡し、オバマ大統領は「最終的にパリ協定が地球にとってターニングポイントとなると考える」と述べ、習主席は「批准について、世界的な問題への取り組みで中国と米国が目標を共有し、解決を目指す姿勢を示している」と述べた。

**「全世界中の43%を排出する国が、何を今更、、、」**と云う強い思いも横切るが、気を取り直し「2大排出国の批准により、協定の年内発効に現実味を齎したことは歓迎すべき」と、認めねばならないと思う。

パリ協定が発効するには55カ国以上、かつ世界の温暖化ガス排出量の、55%以上を占める国の批准が必要であり、批准国は27カ国、排出量は全体の約39%に達した、欧州連合(EU)が域内の調整に手間取っていたが、今月の10月4日、欧州議会本会議で批准する特例措置をとり、5日に批准手続きをしたことで発効条件が満たされた。

一方、**世界の排出量の4%弱を占める我が国日本は未だ「パリ協定批准」に到っていない。**昨今の国会審議を垣間見ると「悩ましい問題も多々ある」が

「今、日本国・日本国民にとって最も大切なことは、益々巨大化する台風・大洪水の防止のための**“温暖化防止策”**であるという認識が、本当に国のトップまで浸透して居ないのかと思いたくなる。

批准国は今年の11月7日～18日にモロッコで開催される「COP22=第22回国連気候変動枠組み条約締約国会議」で、協定に実効性を持たせる具代的なルール造りの議論に入るが、日本はこうした動きを知らながら、国会議員自らの墮情が**「前向きなルール造り参加への好機」**を棒に振った。新聞・テレビらを注意深く見守っていたが、本当にこれで良いのかと思うことしきりである。

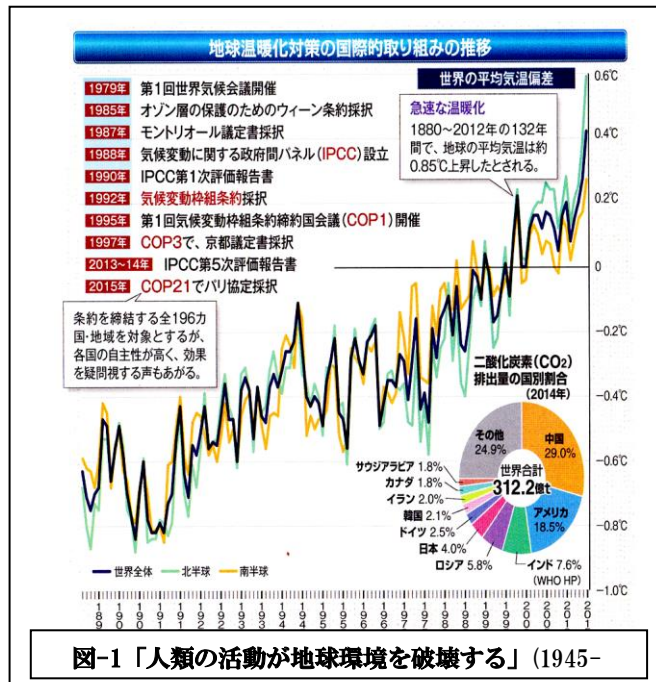


図-1 「人類の活動が地球環境を破壊する」(1945-

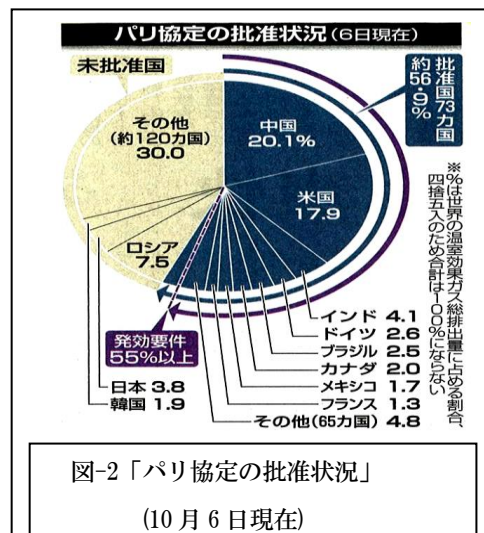


図-2 「パリ協定の批准状況」

(10月6日現在)

今までの「京都議定書」にも加わらなかった米・中が、共に色々な政治的な思惑が有るにせよ、パリ協定の実現に大きな一歩を踏み出しことを、我が国は深く考えるべきだと思う。

写真-1は、**バングラデユのサイクロン被害状況**。1991年4月29日の深夜、発達したサイクロンの来襲により、ベンガル湾最奥部のガンジスデルタ海岸は最高潮位が7mを越える大きな高潮に見舞われた。死者・行方不明は公式には13.8万人と云われているが、30万人に達するという推定もされている。この写真を見て、私達は、とても遠いベンガル湾での出来事であると、「高を括ってはいは為らない」と思うのである。



写真-1 高潮被害を受けるバングラデシュ。  
異常気象の発生は年毎に多くなっている。

今年8月末に、東北・北海道を襲った台風10号の記憶は今も生々しく記憶に残る。

台風の発生は8月15日 -北太平洋の南鳥島付近で発生し、28日には**最低気圧 940hPa**を記録する、**大型で非常に強い台風**となった。死者22名、行方不明者5名、住宅の全壊36棟、半壊842棟(2016年9月23日現在)らの大きな被害をもたらした。政府も救助など災害応急対策を実施するも、10月に為った今日でも、日本の最大の農産物産地への影響は極めて深刻で、スーパーなど店頭には並ぶ「**野菜類等は、軒並み倍近い値上げ**」となり、台風も来なく平穏に過ごせた東海地方の私達にも確実に影響を与えている。

この台風10号は、緯度の高い場所で発生した台風であったが、海水温の高いところへ台風が進んだため発達したと言われ、この海域で発生した台風としては、異例の長寿の台風となったと解説され、その**主因は「海水温の上昇」即「地球温暖化」であると断言**している。

又、当稿を推敲中の10月中旬、米国ではハイチで877人の犠牲者が出た「ハリケーン “マシュー”」が、米南部フロリダ州を襲い大きな被害が出た(10月8日)と、新聞・テレビは伝え、フロリダ州の市長は「マシューは100年に1度のハリケーンだと気象専門家は言っている」と述べたが、**台風(ハリケーン)の大型化**は地球規模で進んでいることを知らされるのである。

寡って、中国北京で行われたAPEC首脳会議開催期間中(2014年11月)は、煙の出所の大小に関係なく、燃えている物すべてが厳しくチェックされ、工場で使用される石炭燃料は勿論(APEC開始前の7日からは北京から半径200キロ以内にある製鋼所やセメント工場などの操業を完全に停止)、北京上空を澄んだ青空にするという目標のために休業を命じられたという。我が国ならば「その発生原因と適正な対策」を国民に徹底的に説き、民度の高い日本人は肅々と応じると思われる。時として時を失する事も有る様だが、この「大量発生源は破壊せよ!!」らの過激な対策は、如何にも中国らしく直接的で一党独裁の国家だから可能な対策だが、何が、今、一番大事なのか!!、との判断から取られた、或る意味では「**一番効果的で直接的、且つ過激で愚かしい処置**」だとも思われる。



写真-2 国内数千の工場に閉鎖・爆破が命じられ、破壊されるセメント工場 (2014年3月)

折もおり、**今年の9月初旬、極めて興味深い情報**が飛び込んできた。

筆者が懇意にする中国関連商社の幹部から、「**中国政府が、とうとう 物造り全企業への操業停止（工場閉鎖）命令を出してきた**」と悲鳴に近い声で話が届いた。この会社は 20 年ほど前から、中国の「**鑄造工場**」から、鑄物製品を輸入し日本国内企業に販売されていたのである。対象となったその工場は、紫禁城や天安門がある北京の中心地から 30Km 程度離れた「通州区」という北京の副都心にあたる。岐阜県を例にするなら、さしずめ岐阜市のお隣の大垣市辺りと思われるが、この「通州区」は、田園・民家そして工場が混在する地域であるが、「**この区にある、あらゆる物づくり工場、3500 社は 10 月末までに閉鎖・撤退せよとの命令**」との書面が届いたのである。この話を聞いた時、本文冒頭に記した「米中両政府は温暖化対策「パリ協定」を批准」を瞬時に思い出し「これが、中国の環境保全対策か」と思ったのであった。

寡って中国における PM2.5 による大気汚染が著しく汚染され大きな問題として、その対策の遅さに非難が集中した頃(写真-2 の如く)、化石燃料の使用料が多い物づくり企業の「セメント・製鉄」らの工場が爆破される様相を何回となく、テレビで見たが、更に広い範囲の「一般の物づくり工場」迄に広がったかと複雑な思いで「**全工場閉鎖命令**」の話を聞いた。

彼の国・中国では地球温暖化問題だけでなく、「水不足&川の汚染」・「国土の砂漠化」・「酷い大気汚染(PM2.5)」らの深刻な状態は「政治&経済の問題」より、国民にとって日々の生活の中で切実な問題である。又、日本にも大きな影響を与えている「**黄砂**」は、後 40 年もすれば、首都北京を砂で埋め尽くし、首都の遷都が決定している(北京から南京市へ)。

写真-3 を見ると筆者が頻りに中国へ出かけていた 10 年ほど前の北京空港からダウンタウンへタクシーで向かうバイパス道路の様相を思い出す。当日の天気は晴天で、時刻は 15:00 頃であったと記憶するが、満月の様にみえる太陽を裸眼でくっきりと見る事が出来、隣をすり抜けるバイクの人達が、タオルの様な厚い布で口と鼻を塞ぎ、ゴーグルをしていたのを思い出した。ホテルに着いてから、夕食の為に街へ出ることは流石に躊躇され、ホテル内で済ました。今までの無策の報いとは思われるが、日本では考えられない「**何とも云えない汚たならしい、誠に嫌な感触**」を鮮明に思い出された。



写真-3 濃厚なスモッグの中を走る車

翻って、昨今の国会審議を垣間見ていると、「TPP 問題」「首相の任期延長案」などの難しい問題もあるだろうが、先ず、今、日本国が真剣に取り組まねばならないことは、確実に進んでいる『**温暖化の現実**』を確実に見据えて、対策を打つことであろうと強く思うのである。

当協議会は微力ではあるが、「市民部門&事業所部門」とも、環境保全対策活動に真摯に取り組んできた、が、更なる強化策の具現化が思いほど進まないことに「切齒扼腕」の思いも募せており、重ねて「地球温暖化対策は喫緊の重要課題」として、思い切った「**素早い環境対策が必要だ、、兎に角、急がねばならない**」と、心から思う日々である。

平成 28 年 10 月 10 日 記

# 小林 由紀子 氏 (会員)

## 東京商工会議所「eco検定アワード2016」

### エコピープル優秀賞受賞

東京商工会議所が実施する積極的かつ模範的な環境活動に取り組む eco 検定合格者・団体を顕彰する eco 検定アワードで、会員の小林由紀子氏が優秀賞に決定しました。受賞者は 14 の個人及び団体で、授賞式並びに授賞者の発表(プレゼンテーション)が、11 月 9 日に東京で開催されます。

([http://event.tokyo-cci.or.jp/event\\_detail-73059.html](http://event.tokyo-cci.or.jp/event_detail-73059.html))

小林由紀子氏からのメッセージ

このたび、東京商工会議所「eco検定アワード2016」エコピープル優秀賞受賞が決定し、HP にアップされました。昨年の「アワード2015」大賞に続いての2年連続の受賞で大変喜んでおります。今年は環境と科学のつながりを意識した親子科学講座を行って場を広げたことが受賞理由です。皆様のおかげと感謝しております。

さて、もう一つお知らせです。家電製品協会の「スマートマスター」になりました。

「スマートマスター」は、IoT 機器を駆使したスマートハウスのプロフェッショナルとして、家の構造・性能に関する知識、家電製品から住宅設備、さらにはエネルギー管理の知識を活用し、それらに関する技術や商品の動向を理解し、様々な製品やサービスを組み合わせる横断的な知識をもって、消費者個々のニーズに合ったスマートハウスの構築を支援する資格です。IoT 機器の普及に伴い、消費者のライフスタイルは大きく変わっていくことが予想されます。

今後は「家庭の省エネエキスパート」のエネルギー診断、「スマートマスター」の最新のエネルギー事情の知識を生かし講座を組んでいきたいと考えています。環境を「楽しい」「面白い」と思ってもらえる講座、もう一度聞いてみたいというリピーターのある講座を私は目指しております。環境への「気づき」「つながり」「バランス」「エネルギーの知識」を伝えられるようにプログラムを組んでいきます。

今後ともよろしく願いいたします。

岐阜新聞 (2016 年 10 月 21 日) 分水嶺から

**分水嶺**  
消費電力を抑えた家電が登場  
する中、家の照明のほぼ全てが  
半分以上を省エネ性能に優れた  
発光ダイオード(LED)照明  
等に替えた人は28%だった。国  
の調査結果だが、買い替えへのためらい  
があるようだ▼調査では75%が家電の買  
い替え時には省エネ性を重視し、87%が  
地球温暖化問題に関心があったとした。し  
かし、「まだ使える」「値段が高い」と  
いう理由で切り替えは進んでいない▼岐  
阜市の中学校であった環境がテーマの授  
業で「電球はLEDか蛍光灯のどちらを  
買うか」と講師が問い掛けた。働きや価  
格を比べた生徒は「製品をよく調べて選  
ぶことが大切」と言う▼講師は環境教育  
に取り組むNPO法人の小林由紀子さ  
ん。小学生とのカワゲラウォッチングで  
は上流より下流で水が汚れていた。児童  
は家庭排水の影響を知り、給食での食器  
を拭いて返すようになった▼小林さんは  
生涯学習として環境教育を企画するが、  
プログラムに欠かせないのは物語性。山  
から川、海に至る水の一貫性を示して人  
と自然の関わりを説く▼地球温暖化対策  
として温室効果ガスの削減が求められて  
いる。人の活動がこのガスを増加させて  
おり、誰もが無関係ではいられない問題  
だ。普段の生活での行動が問われている。  
2016 10.21

# 環境学習を楽しく～環境と科学をつなぐ

岐阜環境カウンセラー協議会 副理事長 小林 由紀子  
(環境カウンセラー)

このたび、東京商工会議所「eco検定アワード2016」エコビープル優秀賞受賞が決定しました。昨年の「アワード2015」大賞に続いての2年連続の受賞で大変喜んでおります。1993年にPTAの牛乳パック回収の担当になり初めて地球規模の環境問題に気が付きました。その時は本気で子どもに地球を未来に残せるか心配しました。環境について私と同様に知らない人に気が付いてほしい、一緒に考えたいと始めたのが今の活動の原点です。今回の受賞は場を与えてくださった皆様のおかげと感謝しております。

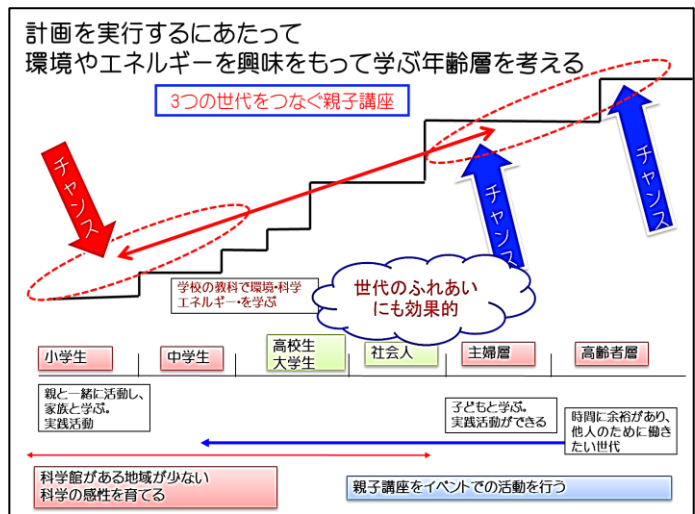
## 地域と学校を結ぶ「川を知ろう・川から学ぼう」水環境学習の体系化事業

総合的な学習の時間の中で「水循環」など「水のつながり」を意識し、身近な「川」「生活排水」を結びつけた学習です。遠足や研修を学習プログラムに取り入れ、学年や教科の内容に即した「導入授業(気づき)」「体験(水生生物調査・生き物探し)」「まとめの授業(発信)」の3つの授業を組み合わせてパッケージ化を行いました。この体系化に合わせたワークシートを作りました。またゲームやクイズを使い楽しんで学習に取り組めるようしました。この体系化の特徴は学校の今ある体験学習を組み入れてその前後のプログラムを組んでいくことです。できるだけ地元の指導者に依頼し、地域の環境への思いを生徒に伝えていきます。この学習を通じて地域を知り愛着を持ち、そこに住む生き物への慈しみを持ってほしい、それが自然保全、生物多様性への理解を深めると考えています。まず、体験を望む学校には、国土交通省木曾川上流事務所、岐阜県河川課、岐阜土木事務所、地元建設会社、岐阜大学、河川環境楽園自然発見館と連携協力してサポートしています。また、今年度はこの体系化を組み入れた林政部主催の「水源林講座」を県内5か所で開催し、どの講座も大変盛況でした。

(この「水環境の体系化」事業は河川基金の助成を受け、優秀成果を4回連続受賞しています)

### 親子科学工作講座・自然観察会の開催

4年前、岐阜大学がJSTの科学コミュニケーション事業「清流の国ぎふ エネルギー環境科学ネットワーク」を採択されました。私がこの親子科学環境教室のコーディネーターをしていました。この事業は科学と環境のつながりを知ることを目的にしています。身の回りに使われているテクノロジーが科学に基づき環境に対しても配慮されていることなど知ってほしいと講座と工作教室をセットにしています。技術革新が世界を変えることを意識してほしいそんな思いが詰まっています。JSTの指定期間が終わりこのネットワークを継続しようと大学と話し合い主管をしています。今年度は岐阜大学の次世代エネルギー研究センターシンポジウムでも事例発表をしました。各務原市河川環境楽園水辺共生体験館\*1を拠点に夏休みに親子環境・科学工作教室を開催しました。エネ



ルギーや光、水に関わる科学工作や体験コーナーを提供しています。昨年は 18 の工作教室と体験コーナーを含めてのべ 1800 人以上の今年も 12 の教室で 1200 人以上の親子が参加しました。

また、連携する岐阜市、大垣市、羽島市、美濃加茂市、下呂市、郡上市のイベントや公民館の講座等でも教室を開催しています。講座・実験、工作などで環境や科学を知る「きっかけづくり」をしています。

今年度は新しい試みとして岐阜県環境カウンセラー協議会との連携で自然観察会の開催をしました。1 年目で知名度がないので参加者は少なめですが子どもたちがとても喜んで参加しています。

(\*1e-plus生涯学習研究所は国土交通省中部地方整備局河川協力団体に登録され、水辺共生体験館の運営ボランティア団体です)

今後は、子どもたちの環境学習活動を続けていくのはもちろんですが、家電製品アドバイザーとスマートマスターの資格を生かして「知って得するエネルギーの授業」を行いたいと思います。意識だけで温暖化防止はできません。実利があって便利さをなくさない上手なエネルギーの使い方、新エネルギーのメリットを積極的に伝えていくつもりです。



## エコアクション 21 部会の紹介

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦  
(環境カウンセラー、EA21 審査人)

### ➤ NPO 岐阜環境カウンセラー協議会内の組織の一つ、EA (エコアクション) 21 部会

当部会は、年に 6 回、偶数月に開催され、当協議会の理事長、EA21 地域事務局員、岐阜県内審査人 8 名、愛知県審査人 1 名といったメンバーで構成され、エコアクション 21 の普及、事業者に対する指導・助言の在り方、審査人自身の力量向上等について情報や意見の交換をしております。

### ➤ 審査人の力量向上

その中から、審査人自身の力量向上について紹介をします。そもそも審査人の力量とは何かという議論が展開され、知識、論理性、倫理観、指導・助言力、情報収集力、コミュニケーション能力、判断力、理解力、観察力等々多彩な能力が求められ、知識については環境問題、環境関連法律、事業者の業務、管理、EA21 の実務等が列挙されました。改めて審査人に求められるものの重さを痛感した次第です。

その力量を向上するために何をすべきかが次なる課題となりますが、何一つとっても奥が深く、完全な姿にすることができるといえるようなもの等はありません。現在は、列挙された力量を念頭に置いて、個々の事例においてどのように考えるべきかという積み重ねを進めております。

➤ **審査人間のレベル合わせ**

EA21の規定では、一事業者様に対して継続して審査できる回数は4回までとされ、審査人が交代する時期がやってまいります。その時に審査人によって、事業者様に対し言うことが違うということが起こりやすくなりますが、このような議論を通して、審査人間のレベル合わせが一步一步前進していると考えます。

➤ **適合性審査と有効性審査**

エコアクション21認証・登録制度実施要領では、平成27年4月1日の改訂において、「・・・ガイドラインに基づき、エコアクション21に取り組む事業者に対し、エコアクション21審査人が指導・助言及び審査を行い、エコアクション21中央事務局及びエコアクション21地域事務局において、ガイドラインへの適合性及び**有効性**を判定の上、認証・登録することにより、社会的な評価信用を得られるようにする・・・」のように、新たに有効性という概念が加えられました。



当部会でも、これまで有効性に関りがあるテーマについて議論がなされてきていますが、事業者様にとって何が有効なのかをより深く考え、実践ができるようにしていくことが、この部会の役割の一つと考えます。

➤ **EA21 審査人の育成**

当協議会会員の方は、EA21部会に参加することができます。平成28年度のエコアクション21審査人試験募集要項では、論文試験の課題が「中小事業者におけるエコアクション21の取組の有効性を高めるための審査人の支援、指導助言及び審査のあり方」とされ、特にEA21審査人を目指す方は、当部会に参加をされることをお勧めします。

➤ **地球温暖化防止**

岐阜地方気象台によれば、岐阜市の真夏日は1990年代以前では60日前後であったものが、1990年代以降から年間日数が70日以上が頻出し、今年は78日です。この暑さが終わったと思いきや、秋を通り越して冬の気配。ヤクルト配達的女性の方が、最近では4シーズンでなく2シーズンとっていましたが、今、誰もが感じているこのような気候の変化、異常気象、地球温暖化が進行していることが身をもって感じます。地球温暖化防止のために、EA21部会の活動が微力ながら貢献すべく、日々研鑽を重ねております。

|  |  |
|--|--|
| <p>・ <b>特定非営利活動法人</b><br/>岐阜環境カウンセラー協議会<br/>住所: 〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6<br/>(一財)岐阜県環境管理技術センター内3F<br/>電話: 058 - 272 - 0408<br/>FAX: 058 - 272 - 0408<br/>E-mail: <a href="mailto:gifu-ec@nifty.com">gifu-ec@nifty.com</a><br/>URL: <a href="http://www.gifu-ec.jp">http://www.gifu-ec.jp</a><br/>窓口担当者: 鈴木 敬彦 事務局長</p> | <p>・ エコアクション21 地域事務局ぎふ<br/>住所: 〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6<br/>(一財)環境管理技術センター内 3F<br/>電話: 058 - 272 - 0408<br/>FAX: 058 - 272 - 0408<br/>E-mail: <a href="mailto:ea21gifu@nifty.com">ea21gifu@nifty.com</a><br/>URL: <a href="http://www.gifu-ec.jp">http://www.gifu-ec.jp</a><br/>窓口担当者: 小倉 竹治郎 事務局長<br/>加藤 邦夫 事務局次長</p> |
|--|--|